

『時事直言』 No.1553 2022年6月20日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

ウクライナ戦争、コロナ、インフレ、ドル高・円安はいつ終わるか (Gold Institute for International Strategy での私のスピーチ 6/15/22)

ウクライナ戦争は 2023 年 12 月末に終わる

新型コロナはすでに終息

インフレは本年 10 月

ドル・円は 10 月上旬から円高 110 円

上記は NY の the Union League での Gold Institute 主催のコンファレンスで私のスピーチで述べたことである。

インフレが 10 月に終わるのはコロナ終息でサプライチェーン問題は回復に向かっており、需給関係が好転してきたからである。

価格操作で釣り上げられている原油価格は下げ始め、10 月には正常の 1 バレル 60 ドルに戻る。

アメリカの国民の頭の上にコロナ支援の名目で空から降ってきたドル札 200 兆円が溜まっていたが、このところマスク不要、集会自由の正常な生活に戻ったのでうっぶん晴らして値段が高いのは承知の上で使いまくった。

ところが、とうとう底をついてきた為スーパーの売上げが下がってきた。

こうなると供給過剰に逆戻りとなる。

時間とともにインフレは終息する。

にもかかわらず FRB は目先のインフレ加速を抑制する為強度な引締め政策を採っているのでアメリカ経済は冷え込みリセッションに向かおうとしている。

リセッションは大手証券アナリスト、投資銀行 CEO 等々のコンセンサスである。

リセッションは今年か来年かで意見は異なるが、私のように「リセッションはない」と言う者はいない。

(それだけに私のスピーチは注目を集めた)

アメリカの二大基幹産業は医療産業と軍事産業であるが、2020 年 3 月以来のコロナで医療産業はこの世の春を迎え、同産業の好況は特にハイテク等ソフト産業に波及し、NY 株価を牽引した。

すでにコロナは終息したので、医療産業の経済牽引力は落ち込んでいる。

そこで次なる経済牽引役としてもう一つの基幹産業である軍事産業をこの世の春に持ち上げなくて

はならなくなった。

幸いタイムリーにコロナ発生の 2020 年 3 月から 2 年ぶりの本年 2 月 24 日プーチンがウクライナに侵攻したおかげで、ウクライナ支援と言う名の軍事予算が次々と米議会を通過し、ペンタゴンから軍事産業に湯水のごとく資金が投下されている。

軍事支出は最も効果的な公共投資であり、経済活性化の原動力である。

従ってウクライナ情勢の悪化が続く限り、公共投資は続き、戦争が続く限りリセッションはなく、暴落も起きない。

私が軍事支出を公共投資と捉えた点がユニークとされ好評だった。

私のスピーチが下でキーノートスピーカーの元 Pentagon の General、Ernie Audino 氏と懇意になれたことは収穫であった。



私のユニークなスピーチに聞き入る元 Pentagon の General Ernie Audino 氏とスピーカーの Mr. Mark Foley 氏
約 50 名の参加者の中に CIA の幹部がいて、中国に私がアドバイスした内容を話したら私に大変感謝していた。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。